



有機農業を核とした

有機的な繋がりが広がる町の実現

熊本県 山都町





山都町の概要・課題



阿蘇山麓のまち



町の特徴



天主山のヤマシャクヤク

- ・九州のへそ・・・南阿蘇外輪山と標高1,600m以上の山々が連なる九州脊梁山地に囲まれ、九州の中央に位置する
- ・町の面積・・・544.67km²(県内で3番目に広い)
- ・人口・・・13,349人(高齢化率51.2% 県内1位 令和2年熊本県推計人口による)

基幹産業・・・農林業:住民の約40%が第1次産業に従事

山都町農業の強み

- 「有機JAS認証登録事業者数」日本一
- 県内自治体初の「くまもとグリーン農業宣言」(2017年11月)
- 「山都町で農業者になる」#有機農業#環境保全型農業#高冷地栽培#中山間地域農業#移住支援



豊かな自然と歴史・文化

- ★星降るまち・・・「山都町星空環境保全条例」(平成31年1月子ども議会での提案を受け、令和2年3月条例制定)
- ★自然環境
 - ・「緑川」「五ヶ瀬川」の源流域
 - ・国特別天然記念物「ニホンカモシカ」
 - ・国指定天然記念物「ゴイシツバメシジミの生息地」
 - ・「国重要文化的景観」「日本の棚田百選」
- ★歴史・文化
 - ・かんがい施設遺産「通潤用水」
 - ・県指定重要無形文化財「清和文楽人形芝居」
 - ・「八朔祭」「火伏地藏祭」



八朔祭 大造り物

課題

- ・地域資源の付加価値向上
 - ・域外への所得流出
- 地域経済循環率: 55.2%

経済

- ・元気な高齢者の活躍の場
- 65歳から75歳までの匠生産年齢人口: 3,047人 (R3.2末)
- ・地域の担い手育成

社会

- ・農村景観の維持
 - ・耕作放棄地(林)の増加
- 34,883a (H12) → 41,196a (H27)

環境



自治体SDGsモデル事業の概要



～有機農業を核とした有機的な繋がりが広がる町の実現～

有機農家の増

CO2吸収量増

安心安全な「食」の地産地売

求められる田舎「山の都ブランド」

田園回帰から町の担い手へ

豊かな自然・美しい農村景観・伝統文化を次世代へ

三側面をつなぐ統合的取組
地域社会を有機的に結ぶ有機農業「山の都食のブランド」創造事業

- ①生産者を核としたプラットフォームの形成
- ②体験型農業等を通じた関係人口の増加
- ③山都町×有機農業×SDGs普及啓発



経済
有機農業の拡大・推進
安全な食の安定供給

①スマート有機農業の実証
②販路拡大事業
③地産地売システムの構築
④くまもとグリーン農業推進宣言の活動普及

新道の駅概要

山都町の自然	栄養価の高い有機農産物	町民同士のふれあい
山都町の自然や農産物の魅力をその楽しみである食とふれ合うことで共感できる空間	ひとりでも家族でも利用できる	健康的でおいしい地元料理
		新鮮な地元食材
	子どもから高齢者まで、気軽に訪れることができ健康的な食を体験できる空間	

社会
安心安全な「食」の学び
高齢者が元気で活躍できる社会の実現

①新規就農者定着に向けた町内研修体制の確立
②子どもたちへの農山村体験
③世代間交流
④住環境整備

山都町で有機農業と生きる

環境
田園回帰をつなぐ
美しい農村景観の次世代継承

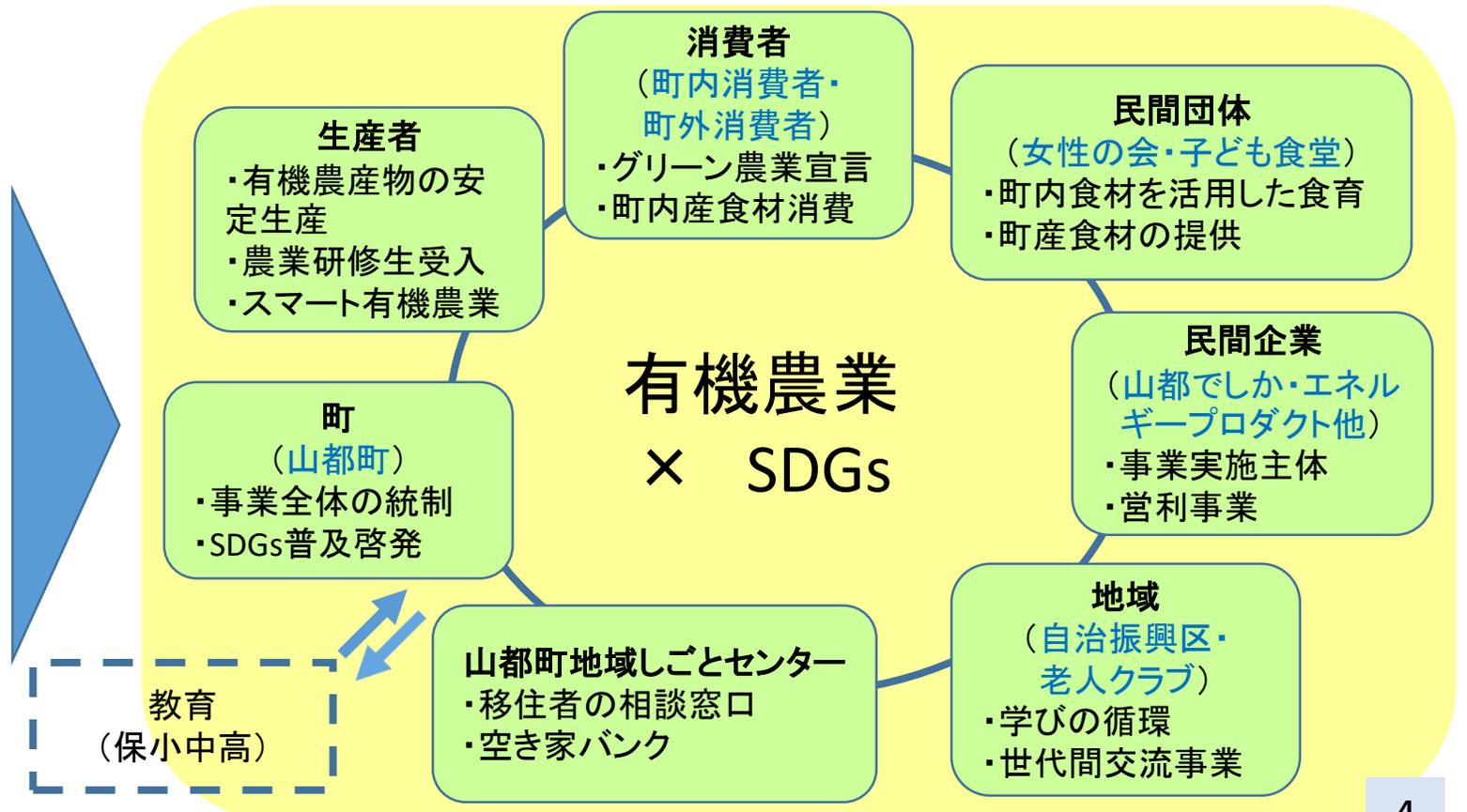
①エコライフ支援事業
②家畜のふん尿を活用したバイオガス発電の導入
③竹林整備による農地復元、竹資源(竹粉)を活用した土壌改善



『地域社会を有機的に結ぶ有機農業「山の都食のブランド化」事業』

①生産者を核としたプラットフォームの形成

- 役場内の政策間連携を図りたい
- 民間や団体の素晴らしい取り組みを継続したい
- 意欲がある住民を応援したい
- 補助金から脱却し、自立へと方向転換
- これまでに育成された人材が活躍する場をつくりたい
- 山都町の魅力をもっと知ってもらいたい
- 取り組み(活動)を広げたい





三側面をつなぐ統合的取組（補助対象事業の概要）①

『地域社会を有機的に結ぶ有機農業「山の都食のブランド化」事業』

①生産者を核としたプラットフォームの形成

モデル的取組 山都町菅地区

人材育成

- ・新規就農者研修
- ・地域を支える人材育成
- ・移住から就農までのサポート

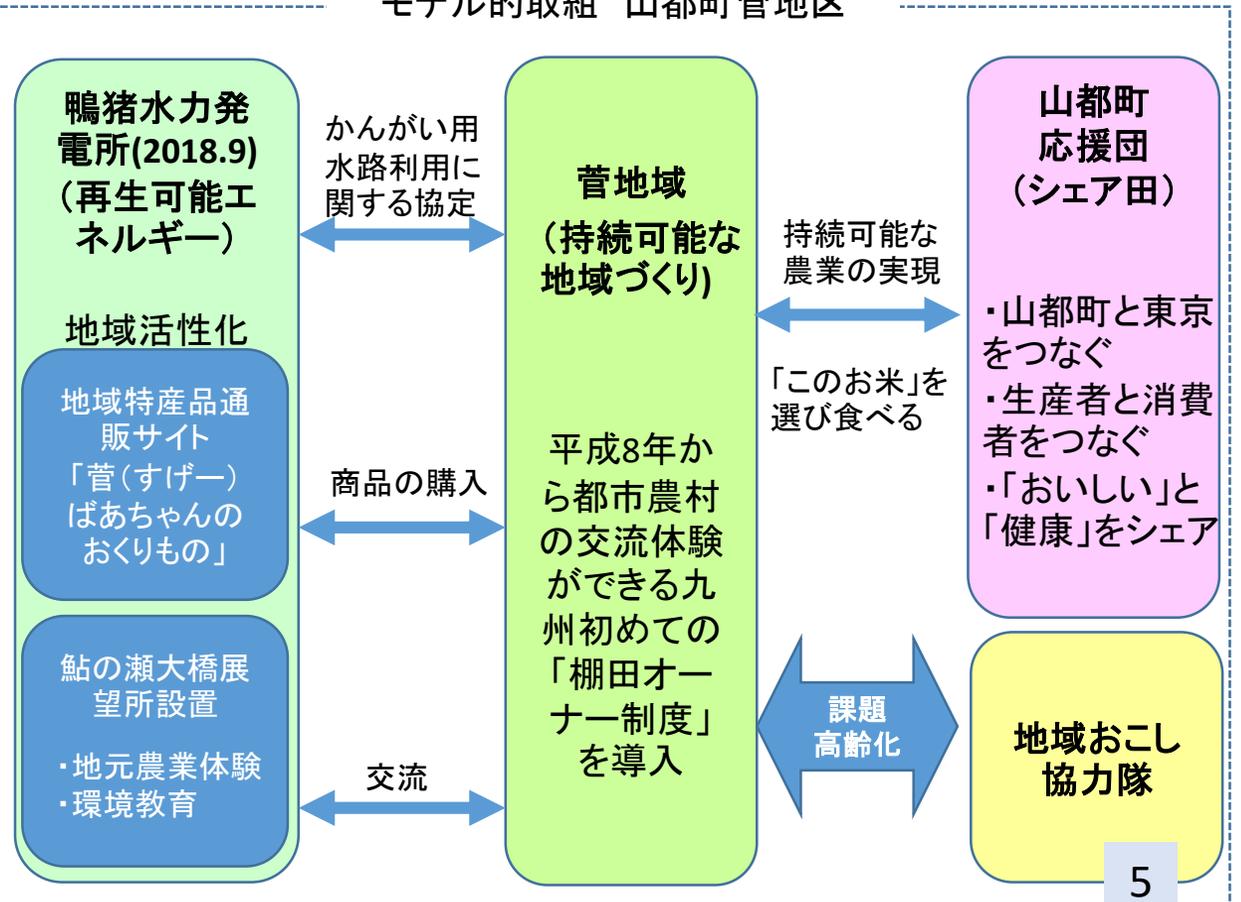
食のブランド化

- ・6次産業化
- ・国産ジビエ認証の取得

地域循環システム

- ・バイオガス発電
- ・エコライフ支援
- ・体験型農業

様々な関係機関によるプラットフォームが、有機農業を核として経済・社会・環境を循環させ、町民・関係人口の参画により取り組みを更に加速させる。





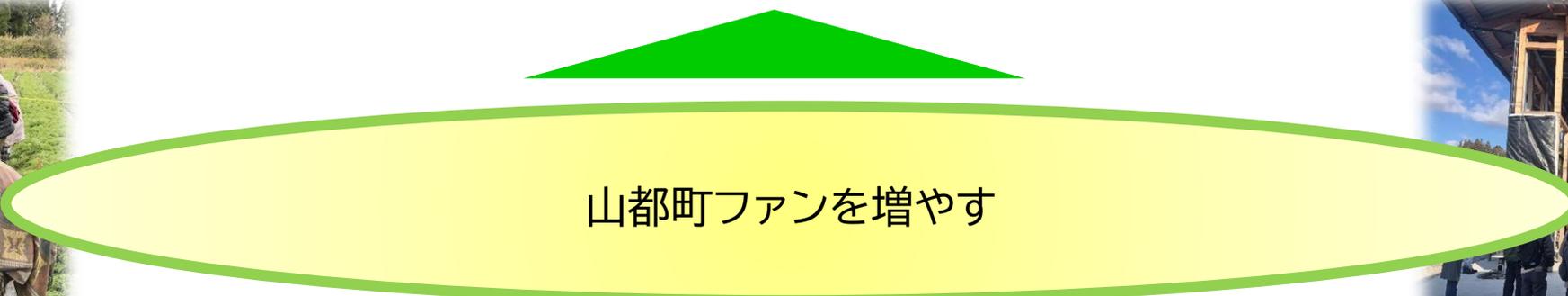
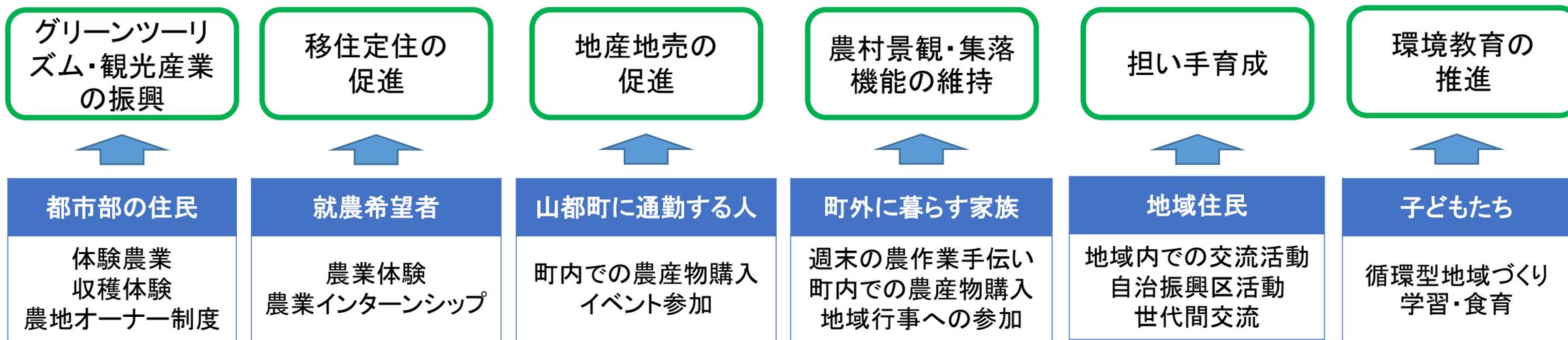
三側面をつなぐ統合的取組（補助対象事業の概要）②

阿蘇山麓のまち



『地域社会を有機的に結ぶ有機農業「山の都食のブランド化」事業』

②体験型農業等を通じた関係人口の増加





『地域社会を有機的に結ぶ有機農業「山の都食のブランド化」事業』

③山都町×有機農業×SDGs普及啓発

【町民・団体等への普及】

- ・町広報誌による、身近な取り組みをSDGsアイコンを活用しながら紹介
- ・民間団体の自発的な活動を支援
- ・町民や、地域団体のSDGsに繋がる取組を紹介、身近な取り組みへと



【役場内での普及】

- ・職員向け研修会の開催
H30～R2: 4回開催
- ・各部署における取り組みを明確化
- ・横の連携による相乗効果を検討、プロジェクトチームによる企画立案



【教育機関での普及】

- ・学校独自の取組みを支援
- ・総合的な学習を活用した理解促進
- ・町事業との連携によるイベント開催等
- ・教育現場から、家庭への情報発信

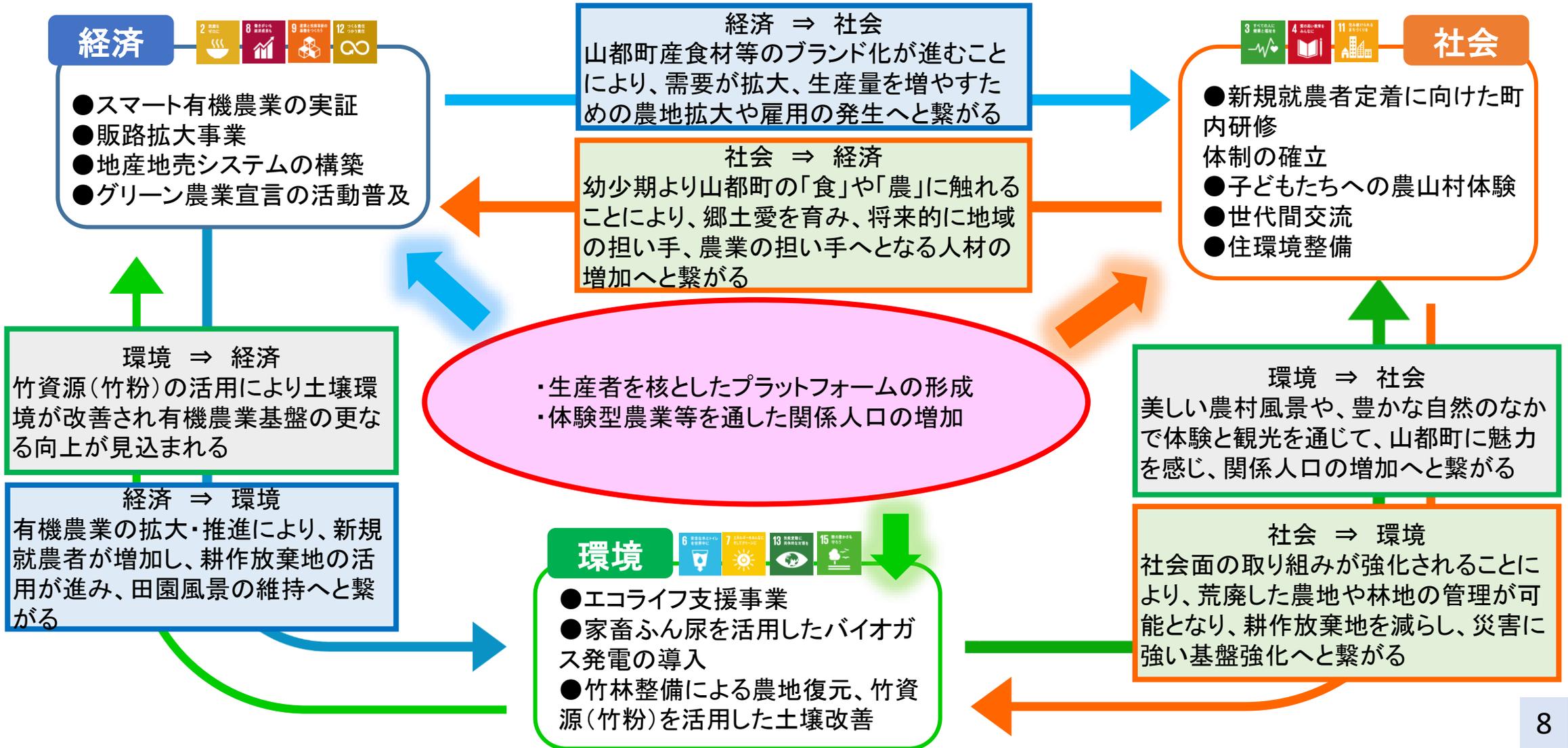


【外部への普及】

- ・SNSや広報誌を活用した町の取り組みの情報発信
- ・「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」「九州SDGs経営推進フォーラム」等を活用した取組紹介
- ・有機農業による協力企業と事業展開を図る



経済・社会・環境の各側面の相乗効果





自立的好循環の具体化に向けた事業の実施

